

一宮市自立支援ワーキング (地域ケア個別会議)



一宮市高年福祉課

目 的

●高齢者の自立支援（もう一度「元のふつうの暮らし」を取り戻す）のために生活課題を通じて、多職種で意見を出し合う学びの場

★ケアプランチェックではありません★

具体的には・・・

○個別ケースの支援内容を検討する。

もう一度「元のふつうの暮らし」を取り戻す

○他の個別ケースの支援にも活用する。

○個別ケースの課題分析等を行うことによる
地域課題の把握を行う。

「地域ケア会議」の5つの機能

地域ケア会議⇒圏域別地域ケア会議、自立支援ワーキング、地域包括ケア会議

個別課題の解決	多職種が協働して個別ケースの支援内容を検討することによって、高齢者の課題解決を支援するとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める機能
地域包括支援ネットワークの構築	高齢者の実態把握や課題解決を図るため、地域の関係機関等の相互の連携を高め地域包括支援ネットワークを構築する機能
地域課題の発見	個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を浮き彫りにする機能
地域づくり 資源開発	インフォーマルサービスや地域の見守りネットワークなど、地域で必要な資源を開発する機能
政策の形成	地域に必要な取組を明らかにし、政策を立案・提言していく機能

意義

職種	意義
ケアマネジャーなど 介護サービス事業者	ケアマネジメントや ケアの質の向上
専門職	専門職としての スキルアップ
地域包括支援センター・ 行政	行政課題の発見・ 解決策の検討
参加者全員	ネットワークの構築

これまでのケアマネジメント 【お世話型ケアマネジメント】

- ▶ 本人が『**できないこと**』を**補う**形でのサービス利用
- ▶ 介護保険サービスを利用する『**型**』にあてはめたプラン



さらに介護が必要な暮らし

これからのケアマネジメント

【自立支援型ケアマネジメント】

- ▶ 本人が**主体的**に取り組むことができる
- ▶ 「していること」「やりたいこと」「していたこと」に目を向ける



元のふつうの暮らし

これまで

（お世話型ケアマネジメント）

- ▶ 週に1回、デイサービスだけで下肢筋力の強化をした。



- ▶ 不安なため、一人で外出できなくなっていました。

これから

（自立支援型ケアマネジメント）

- ▶ いきいき訪問（訪問型サービス）にて理学療法士が自宅に来て、体操や杖の使用方法などについて指導。
- ▶ 実際にサロンまで歩くことを目標にリハビリをした。



- ▶ その結果、サロンまで一人で歩いていくことができ、切り絵を行うことができた。

本人の取り組み(自助)を引き出す

介護予防

- ・運動機能の低下
- ・低栄養
- ・口腔機能の低下
- ・認知機能の低下
- ・閉じこもり、うつ など



生活習慣病予防 重症化予防

- ・がん
- ・脳卒中
- ・心臓病
- ・糖尿病
- ・高血圧
- ・脂質異常症



本人の身体状況や健康状態に目を向け、

「より健康になる生活を選びとる能力」

が持てるよう支援

事業対象者介護予防ケアプランの分析

▶ 本人の取り組みについて記載があった件数

年	総数	件数	%
2019年	238件	149件	62.6%
2024年	296件	286件	96.6%



事業対象者介護予防ケアプランの分析

▶ 本人の取り組みの記載内容について

項目	2019年 (%)	2024年 (%)	内容
趣味・役割	37.0%	23.6%	畑仕事、旅行等
運動	49.6%	73.3%	散歩、体操等
認知	9.7%	2.7%	数独、脳トレ
健康	52.5%	94.6%	内服、受診
栄養・口腔	19.7%	4.1%	バランスのよい食事

事業対象者介護予防ケアプランの 分析

▶ 家族支援についての記載内容について

年	件数	%	内容
2019年	38件	16.0%	買い物、外出等
2024年	195件	65.9%	買い物、見守り等

▪ 地域資源についての記載内容について

年	件数	%	内容
2019年	162件	68.1%	喫茶店、体操教室等
2024年	148件	50.0%	喫茶店、友人と交流等